

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 ChainLink	 Avalanche	 Uniswap
中堅	 Polyhedra Network	 CoW Protocol	 Space and Time
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 5/23

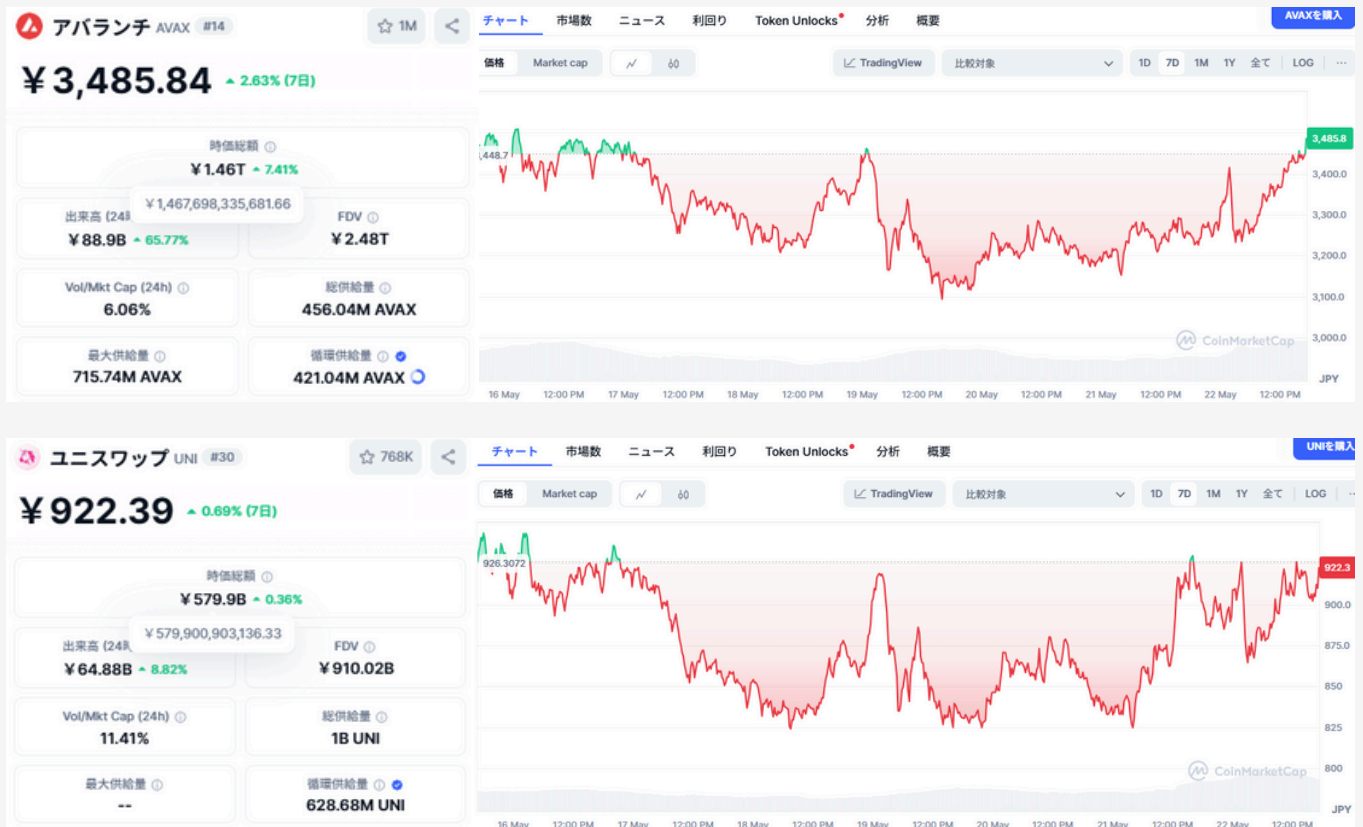
本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#12	 ChainLink	Oracles	¥1,551,821,981,514	¥2,361.62	—	▲1.46%
#14	 Avalanche	Layer1	¥1,467,698,335,681	¥3,485.84	31.70倍 (ETH比)	▲2.63%
#30	 Uniswap	DEX	¥579,900,903,136	¥922.39	—	▲0.69%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、+6.34%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Chainlink：LINK

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。



注目ポイント：Chainlink、JPモルガンの米国債決済で地位確立

Chainlinkは、JPモルガンがトークン化された米国債の決済に「CCIP」を採用したことで、伝統的な金融市場での実績を積み上げました。またSolanaへの対応により、非EVMチェーンへの拡大も進んでいます。こうした実績が、金融機関によるChainlink技術のさらなる採用を促し、LINKトークン需要の拡大に繋がる可能性があります。ただし、EUの規制でオラクル手数料が制限されるリスクや競合プロジェクトの台頭にも注意が必要です。

Avalanche : AVAX

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。



注目ポイント：Avalanche、VanEck専用ファンド設立で資金流入

VanEckは2025年6月10日に、運用資産総額1億ドル（約144億円）超となるAvalancheエコシステムに特化した「PurposeBuilt」ファンドを立ち上げる予定となり、ゲームや金融、AI分野など幅広いプロジェクトを支援していくとのこと。さらに人気ゲーム「MapleStory N」の成功によりユーザー数が急増し、Avalancheへの関心が高まっています。今後、VanEckファンドを通じて継続的に資金流入があれば、AVAXの需要拡大が期待できますが、競合チェーンとの競争激化やファンド運用成果によっては資金流出のリスクも残ります。

Uniswap : UNI

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。



注目ポイント：特許訴訟発生もL2成長は順調

Uniswapは独自L2「Unichain」が急成長し、取引量が大幅に拡大しています。米国ではGENIUS Act（ステーブルコイン規制法案）が進展し、ステーブル取引の合法化が近づいています。これに合わせて将来的に「Fee Switch（手数料還元）」が導入されれば、膨大な取引から発生する手数料の一部がUNIトークン保有者に直接還元される仕組みが整います。実現すればUNIの価値は配当型トークンとして再評価される可能性があります。短期的にBancorの特許訴訟が不安材料ですが、中期では規制整備やUnichainの成長が強力な追い風です。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 5/23

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

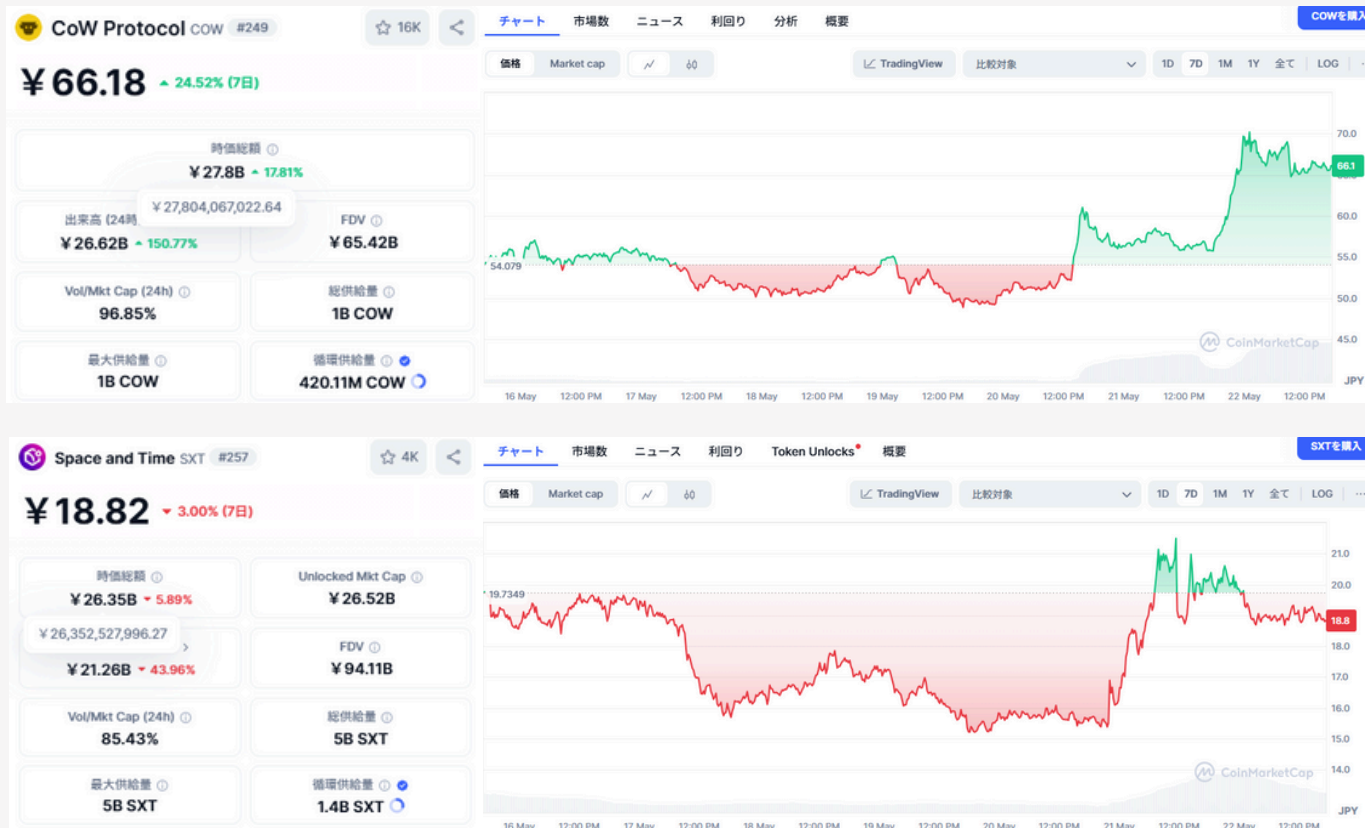
検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#112	 Polyhedra Network	Zero Knowledge	¥85,717,520,401	¥292.69	2.17倍 (IMX比)	▼0.21%
#249	 CoW Protocol	DEX	¥27,804,067,022	¥66.18	20.86倍 (UNI比)	▲24.52%
#257	 Space and Time	Zero Knowledge	¥26,352,527,996	¥18.82	7.07倍 (IMX比)	▼3%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、+6.34%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、
とは 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Polyhedra Network：ZKJ

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：トークン大量放出とAI分野への進出

Polyhedra NetworkはAI特化型チェーン「EXPchain」を展開し、MissileProof・Virgo++・Geminiの導入で計算処理の高速化・効率化を進めています。またzkBridgeがEIP-7212規格に対応し、機関投資家向けRWAの安全なトークン化とクロスチェーン移転を促進中です。Coinbase InstitutionalやOndoとの提携により、規制に準拠した機関投資家の参入が加速すると見込まれ、中長期的にはエコシステムの成長とZKJトークン需要の安定的拡大が期待されます。短期的なトークン放出による価格調整には注意が必要です。

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

CoW Protocolは、複数の注文をまとめて最適価格で取引を成立させる仕組みを持つDEXです。
2025年6月初旬に導入予定の新取引方式「フェア組合せオークション（FCA）」は、DEX（分散型取引所）のCoW Protocolで採用される仕組みです。注文処理を担う専門業者（ソルバー）が複数の取引を同時に組み合わせ、効率よく約定させることで、処理能力を約33%向上させます。
価格変動（スリッページ）や第三者の不当利益抽出（MEV）を抑制し、公正な取引環境を実現します。5月にコミュニティ投票で承認され、6月3日の稼働に向けて準備中です。FCA導入でCoW Protocolの取引処理能力が向上すると、より快適なユーザー体験が実現され、ユーザー数や取引量が増える可能性があります。

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。



5/20 Space and Time (SXT) が提供する検証可能なブロックチェーンデータが、Microsoft の新データ分析プラットフォーム「Microsoft Fabric」に統合されました。これにより、Azureを通じてBitcoinやEthereumなど主要チェーンのリアルタイムデータを企業が直接利用可能になります。独自ZK技術「Proof of SQL」でデータの改ざん防止と信頼性を担保しており、エンタープライズ分野での広範な導入が見込まれます。今後、企業利用拡大に伴い、SXTトークンの実需増加と中長期的な価値向上が期待されます。ただしメインネットローンチしたばかりの銘柄なので、短期的に相場が乱高下する懸念も混在しています。

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間 のCMC推移
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>